

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について（報告）

1 目的

第6期千葉市障害福祉計画（令和3年度～令和5年度）に成果目標を設定して、精神障害者が地域の一人として安心して、自分らしい暮らしを送れるよう、地域の課題を共有化した上で、精神科病院・事業所・行政等が連携し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

2 主な内容や実績など

(1) 「協議の場」として、地域包括ケアシステム構築推進連携会議の開催

- ・ 構成員 精神科病院の地域移行に関わる職員、地域の事業者、行政機関等
- ・ 協議事項 精神科病院における長期入院者の地域移行プログラム内容等の検討、事業実施状況の把握、事業実施後の評価。
- ・ 分科会 実践を目的とした、3つの分科会（通称：進め隊・広め隊・深め隊）を連携会議のもとに設置し、積極的な活動を実施している。

3つの隊の活動内容

①進め隊：地域移行支援・地域定着支援の地域での展開

- 活動内容 ○構築推進サポーターを活用した地域移行支援の展開
○地域移行支援、地域定着支援に関する地域課題の検討や調査・分析

②広め隊：地域住民等への広報啓発活動

- 活動内容 ○市民向け啓発事業、若年層向け啓発

③深め隊：ピアサポーターの育成や活用

- 活動内容 ○ピアサポーター実践者同士の交流や意見交換
○市民や関心がある方に向けた交流・啓発
○ピアサポーターの活用促進の関する促進

<連携会議・分科会の開催状況>

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
連携会議開催数	3回	3回	2回	2回
分科会開催回数	30回	24回	22回	25回

(2) 入院中の精神障害者の地域移行に係るプログラムの実施【進め隊・深め隊】

主に入院期間1年以上の長期入院患者の地域移行を促進し、併せて医療機関や各事業所の地域移行支援実践力の育成や向上を目指し、地域の関係者がチームを組み地域移行に向けて実践的な取り組みを実施している。

年度	令和元年度	令和2年度 (OJT導入)	令和3年度	令和4年度
体験談プログラム	0回	OJT：4事業所受講 OJT回数：延19回	OJT：3事業所受講 OJT回数：延17回	OJT：1事業所受講 OJT回数：延19回
日中活動（事業所） 体験プログラム	3回 3人参加	新規ケース：7人 退院者数：2人	新規ケース：6人 退院者数：5人	新規ケース：2人 退院者数：2人
生活訓練（宿泊） 体験プログラム	3回 3人参加	退院目途：2人 3年度継続：3人	退院目途：0人 4年度継続：1人	退院目途：0人 5年度継続：0人

（３）入院患者及び病院・事業所等職員に対するニーズ調査の実施【進め隊】

（長期）入院中の患者や支援者、地域住民のニーズについて調査を行い、本市における地域移行支援の実態把握および今後の課題等进行分析。

年度	令和元年度	令和2年度 (未実施)	令和3年度	令和4年度
調査内容	市内地域住民の精神障害に対する意識調査	入院患者のニーズ調査の再分析	市内における障害福祉サービス事業所・医療機関等に対する意識調査	市内における障害福祉サービス事業所・医療機関等に対する意識調査
対象者	市内住民	精神科病院入院中の患者	障害福祉サービス事業所 医療機関等	①障害福祉サービス事業所 ②医療機関等
回答人数	126人/126人 (回答100%)	-	集計中	①123/192事業所（回答64%） ②6病院/8病院（回答率75%）
結果概要	精神障害の相談先が分からない、自分たちとは関係ないと思っていたという声が多かった	30年度調査した入院患者のニーズ調査を更に分析を進め、本事業の今後の方針に活用する	集計中	医療機関側と障害福祉サービス事業所側での意見を集約化し、意見交換を実施。
今後の課題	より効果的な市民への普及啓発方法の模索	-	-	地域側も医療機関側も双方が分かる資料や説明の場が必要となった。

（４）精神障害者の地域移行支援に携わる職員等への研修の実施【進め隊・広め隊】

国が選任するアドバイザー及び精神障害者に対する地域生活支援を先駆的に実施している者等を講師として、主に医療機関や障害福祉サービス事業所等を対象にした研修を実施している。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医療機関	2回 31人参加	2回 23人参加	0回（※未実施）	0回（※未実施）
事業所	2回 31人参加	2回 35人参加	0回（※未実施）	0回（※未実施）
訪問看護	—	—	—	—

※令和3年度及び令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から実施ができなかった。
令和5年度より各関係機関で実施予定。

(5) ピアサポーターの活用に係る事業の実施【深め隊】

精神障害者の地域移行や雇用の場を広げるため、ピアサポーターを活用し、病院や事業所、市民や学生等を対象としたセミナー等や、入院の患者に対する相談等およびピアサポーター相互の人材交流を積極的に行っている。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交流会	2回（60人）	0回（※中止）	0回（※未実施）	2回（35人）
公開セミナー等	3回（84人）	4回（80人）	1回（50人）	2回（62人）

※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から交流会の実施ができなかった。

(6) 地域への広報・普及啓発活動の実施【広め隊】

住民向け研修は、令和元年度より千葉市教育振興財団公民館管理室と共催で開催し、障害者基幹相談支援センターやあんしんケアセンター等とも連携して行っています。若年層向けは市内の小中学校及び大学等と協力しながら実施している。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域住民向け	6回（126人）	1回（29人）	3回（75人）	4回（142人）
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	各地域の実情に 応じたテーマ	各地域の実情に 応じたテーマ
若年層向け	3回（278人） （小中大学生）	2回（92人） （小・大学生）	—	3回（181人） （大学生）

※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から若年層向け広報・普及啓発の実施ができなかった。